

## アメリカ議会図書館の国立音声映像保存センター LOCアーカイビング フォノプリアンプ システム



(Culpeper VA) アメリカ議会図書館は新設された国立音声映像保存センター (NAVCC) のために 6 台のMillennia LOCアーカイビングシステムを選びました。LOCシステムは2008年第一四半期に開設予定の図書館の各最新式トランスクリプション室にそれぞれ設置されています。

Millennia LOCアーカイビングシステムは図書館が所有する全てのLP、78、16"トランスクリプション、エディソンシリンダー、アコースティック録音、とその他の歴史的録音形式のためのアナログプリアンプとイコライザーとして使用されます (約200万点あると推測されています)。

LOCアーカイビングシステムは現在から初期まで全てのディスクやシリンダーを忠実に再生し、貴重なオーディオの宝を後世に残すためにデジタル化する際、音響面で透明な信号パスを提供します。100ボルトの完全ディスクリット、マスタリング級EQアンプと、非常にクリアなハイゲインパスで知られるMillenniaの製品であるLOCが、この膨大な試みに最適であることは明白でした。

NAVCCディレクターのGreg Lukow氏は「NAVCCで採用されている技術は規模と能力両方においても世界で最大級である」と言います。さらに「これらの技術によって既存のままでは劣化してしまう音源の保存コピーを、高いクオリティかつ大量に作製することができるようになります。これにより将来的に研究者はこれらの音源により素早く、より良い状態でアクセスすることが可能になります」。



新設されたNAVCCアーカイビング施設は敷地45エーカーに棚90マイルを有し、音声映像物600万点を所有、そして巨大な部屋には実存する再生デバイスのほぼ全てが保管されています。アーカイブにはさらに124室もの温度管理された可燃性フィルム保管室、商用フィルム現像施設、そしてクリーニングと修復専用のウィングがあります。

この世界最大規模のアーカイブと技術の施設はバージニア州CulpeperのPony Mountainの地下、約50万四方フィートにおよぶトンネルコンプレックスの中にあります。この施設は米国立法府への個人寄付金としては史上最高額だった、David Packard氏 (Hewlett-Packard社創設者の息子) からの寄付金で建設されました。

NAVCCはまた世界で最も大きな動画と音声録音のコレクションであるほか、Googleまでもを超えて、地球上で最大のハードディスク使用者になります。議会図書館ではギガバイトやテラバイトではなく、年間ペタバイト単位の使用を考慮しています。

